太平電業株式会社

# 2026年3月期
# 第2四半期決算説明資料

**2025年11月20日**

**太平電業株式会社**

(東証プライム｜証券コード 1968)

太平電業株式会社

## Ⅰ. 2026年3月期 第2四半期決算実績

## Ⅱ. 2026年3月期 配当政策ならびに企業価値向上に向けての取組み

## Ⅲ. 中期経営計画の取組状況

# Ⅰ.2026年3月期 第2四半期決算実績

# 連結決算サマリー

太平電業株式会社

（単位：百万円）

| | 期初計画 | 2026年3月期 第2四半期（中間期）実績 | 2026年3月期 通期予想 | 進捗率 | 2025年3月期 第2四半期（中間期）（参考値） | 前期比率（参考） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 受注高 | 87,000 | 83,101 | 174,000 | 47.8% | 81,311 | 2.2% |
| 売上高 | 71,000 | 63,553 | 143,000 | 44.4% | 60,361 | 5.3% |
| 営業利益 | 7,100 | 4,821 | 15,000 | 32.1% | 6,062 | -20.5% |
| 経常利益 | 7,600 | 5,214 | 15,800 | 33.0% | 6,230 | -16.3% |
| 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益 | 5,000 | 3,517 | 10,600 | 33.2% | 4,283 | -17.9% |

© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

# 連結セグメント別売上高（建設・補修）

太平電業株式会社

| （単位：百万円） | 売上高 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 期初計画値 | 2026年3月期<br>第2四半期<br>（中間期）<br>実績 | 2026年3月期<br>通期予想 | 進捗率 | 2025年3月期<br>第2四半期<br>（中間期）<br>（参考値） | 前期比率<br>（参考） |
| 建設工事部門 | 21,773 | 19,398 | 42,674 | 45.5% | 19,066 | 1.7% |
| 補修工事部門 | 49,227 | 44,154 | 100,326 | 44.0% | 41,295 | 6.9% |
| 合計 | 71,000 | 63,553 | 143,000 | 44.4% | 60,361 | 5.3% |

© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

# 連結セグメント別営業利益（建設・補修）

太平電業株式会社

| （単位：百万円） | 営業利益 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 期初計画値 | 2026年3月期<br>第2四半期<br>（中間期）<br>実績 | 2026年3月期<br>通期予想 | 進捗率 | 2025年3月期<br>第2四半期<br>（中間期）<br>（参考値） | 前期比率<br>（参考） |
| 建設工事部門 | 261 | -588 | 1,068 | -55.1% | -63 | - |
| 補修工事部門 | 6,839 | 5,409 | 13,932 | 38.8% | 6,124 | -11.7% |
| 合計 | 7,100 | 4,821 | 15,000 | 32.1% | 6,062 | -20.5% |

(注)営業利益については、全社費用を各部門に配賦した結果となります。

© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

# 連結キャッシュ・フローの推移

太平電業株式会社

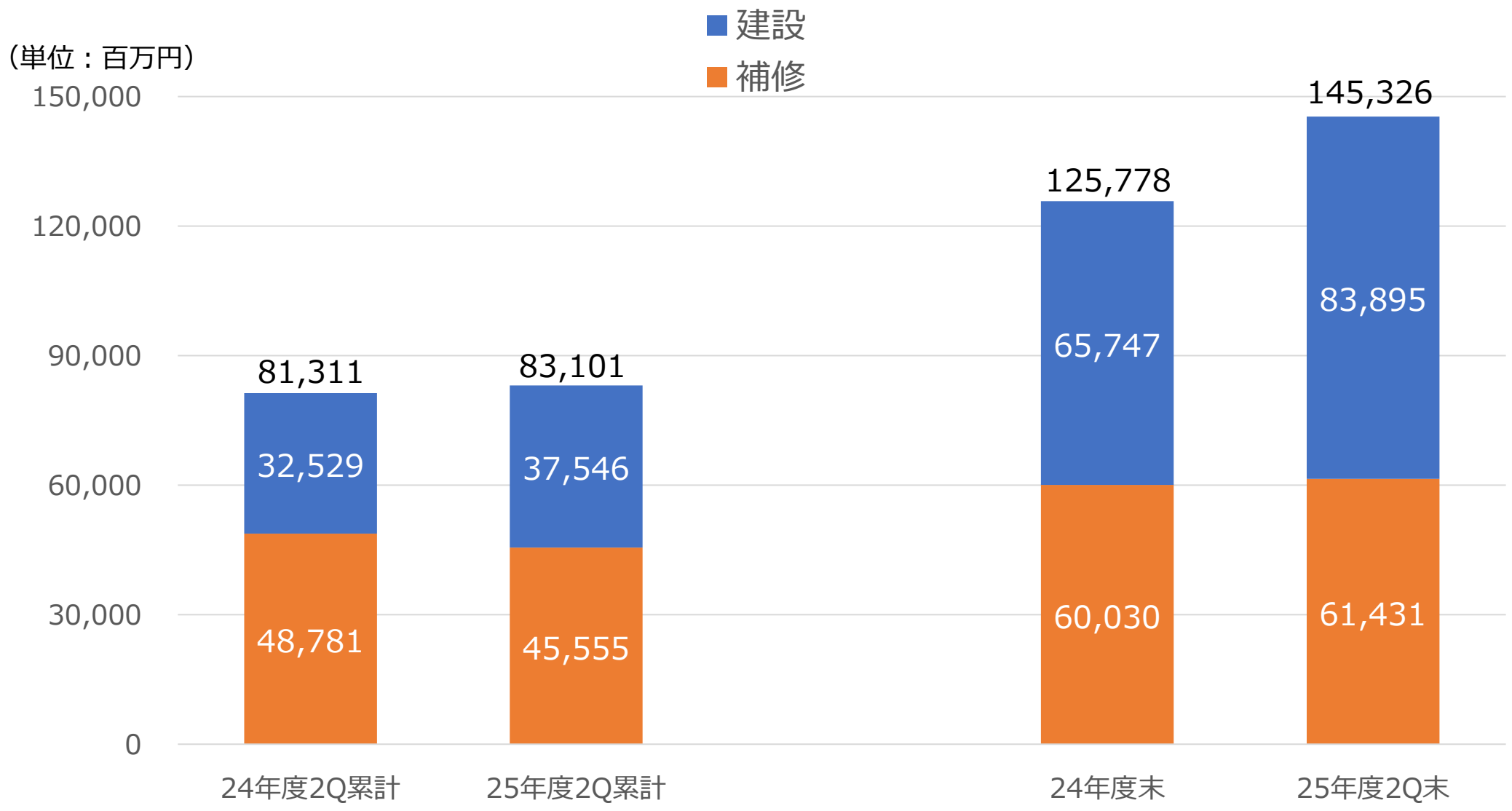
（単位：百万円）

| | 2022年3月期 第2四半期（中間期）（参考） | 2023年3月期 第2四半期（中間期）（参考） | 2024年3月期 第2四半期（中間期）（参考） | 2025年3月期 第2四半期（中間期）（参考） | 2026年3月期 第2四半期（中間期） | 5カ年平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 30,941 | 19,397 | 48,689 | 41,919 | 42,104 | 36,610 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,156 | 16,021 | -4,474 | 7,479 | 3,238 | 4,884 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | -5,056 | -1,055 | -856 | -369 | -519 | -1,571 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | -5,646 | -1,780 | -2,615 | 28 | -3,157 | -2,634 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 27 | 631 | 460 | -135 | -48 | 187 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | -8,519 | 13,817 | -7,485 | 7,003 | -486 | 866 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 22,422 | 33,215 | 41,204 | 48,922 | 41,618 | 37,476 |
| フリーキャッシュ・フロー | -2,900 | 14,966 | -5,330 | 7,110 | 2,719 | 3,313 |

© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

# 受注高および受注残高の推移（連結）

太平電業株式会社



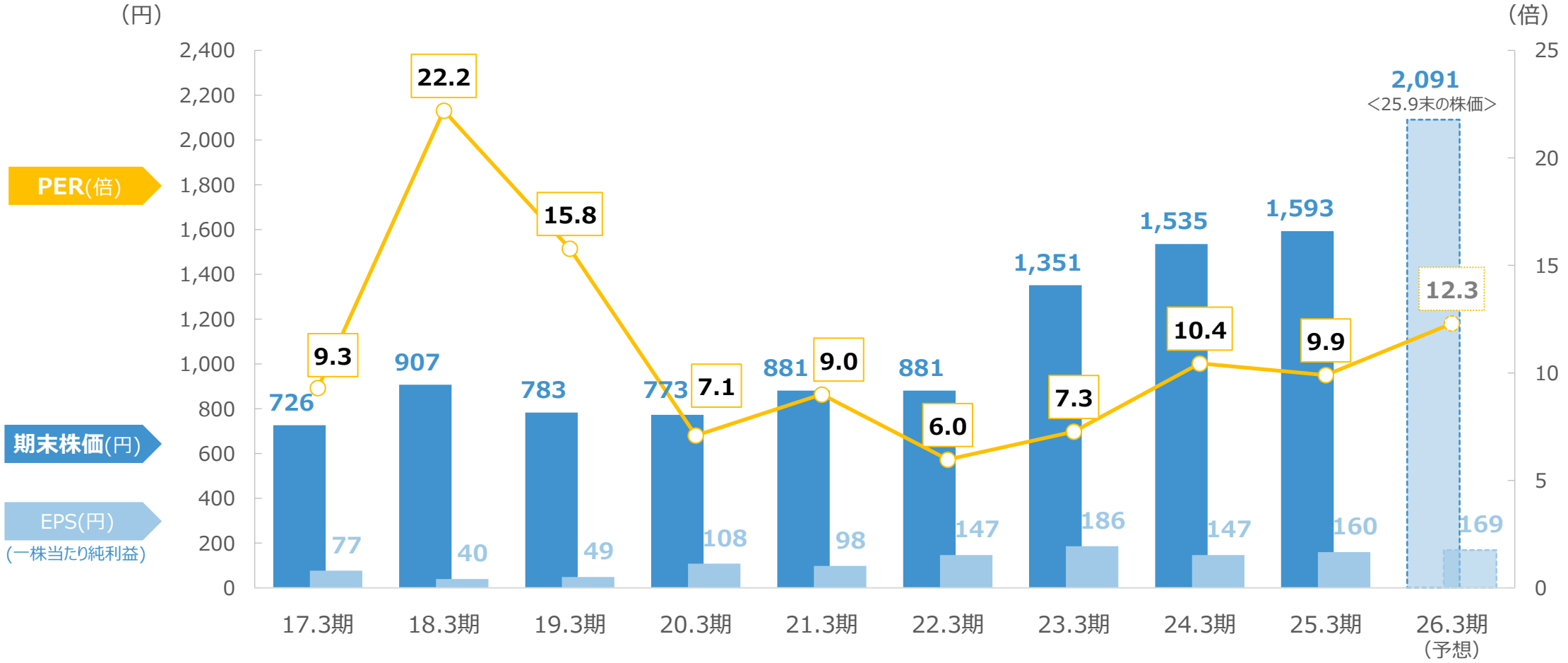

© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

# Ⅱ.2026年3月期 配当政策ならびに企業価値向上に向けての取組み

# 株価指標の分析と評価

太平電業株式会社

- 2025年9月30日を基準日として1株を3株に分割。株式の流動性向上と投資家層のさらなる拡大を図る。
- 今期は株価が大幅に上昇した一方で、依然としてPERは同業他社と比較し低位にとどまっている状況であり、株価上昇の余地はまだ存在すると考える。




© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

※2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を実施したため、
当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。なお、金額は小数点以下を切り捨てて表示しております。
※26.3期(予想)のPERおよびEPSは25.9末の株価を使用して試算しております。

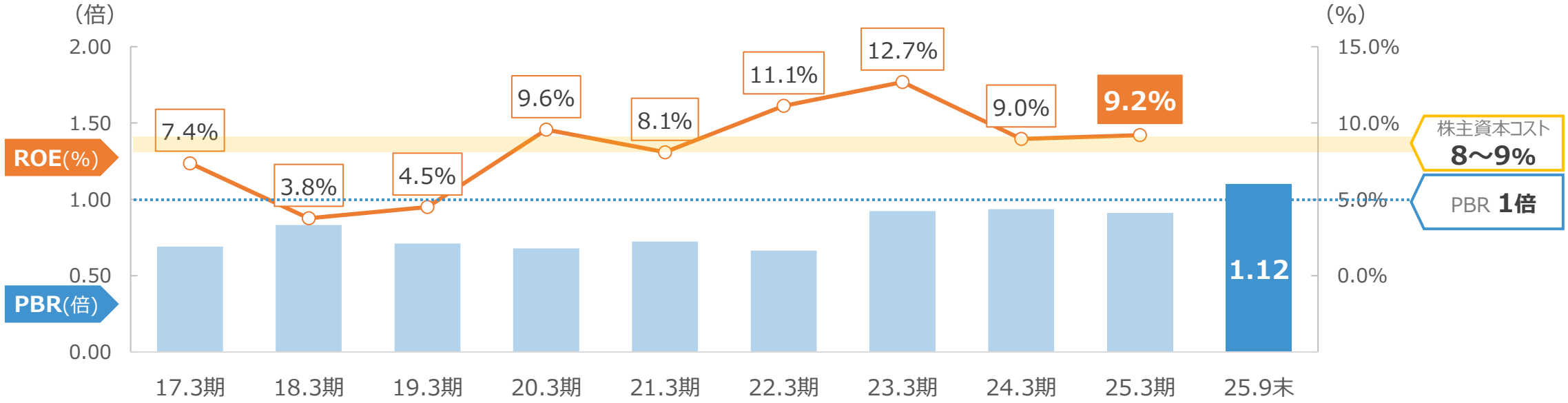
# 当社企業価値にかかる現状認識

太平電業株式会社

- ROEは22.3期以降9%超で推移。安定的な利益を確保できる補修工事の拡大と、成長ドライバーとしての火力建設・原子力再稼働関連工事の施工、EPC事業によるトップライン伸長などに取り組み、引き続き９%以上を目指す。
- PBRは継続的な各種取り組みにより、 25.9末時点では1.12倍まで上昇。今後もさらなるPBRの向上を目指す。

ROE目標 **9**%以上 ≧ 株主市場が期待する 株主資本コスト* **8～9**%

*益利回りや投資家の皆様からのご意見に基づき、8%～9%と認識

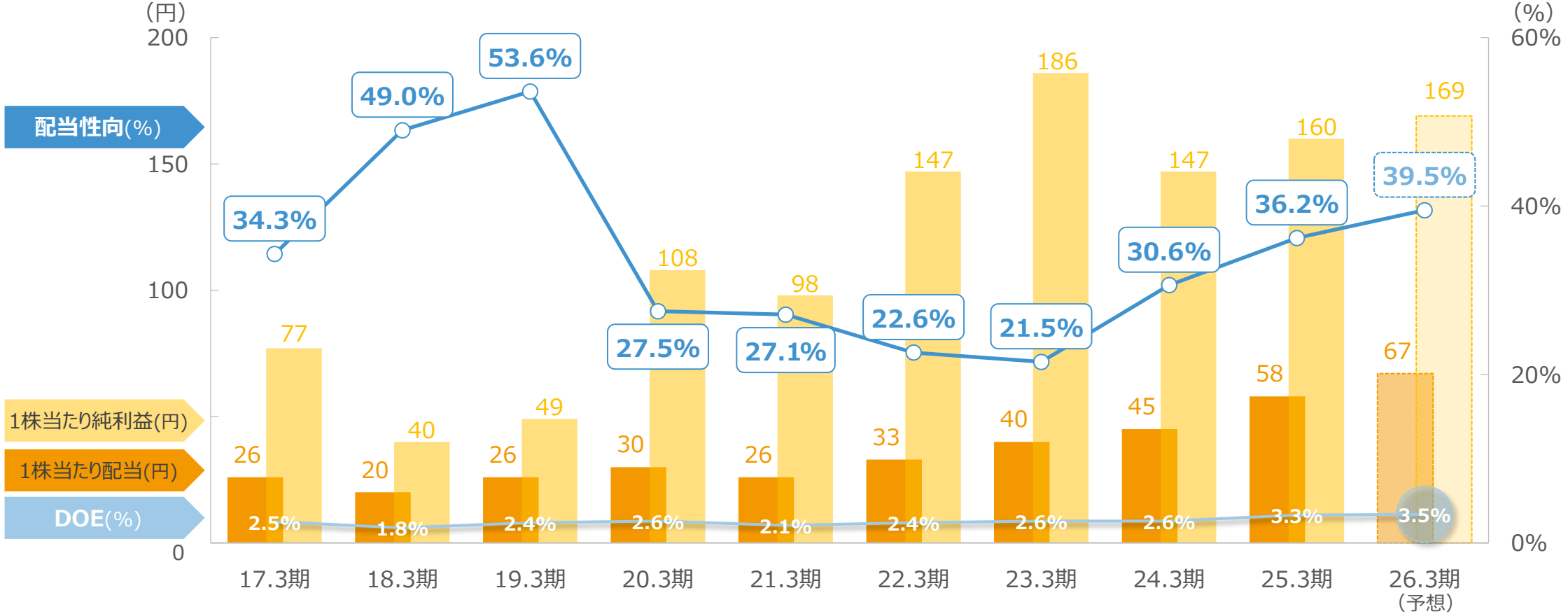



© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

# 配当政策：配当金および純資産配当率（DOE）の推移（連結）

太平電業株式会社

- 25.3期より株主還元方針を改定し、DOE（株主資本配当率） 3%を下限、配当性向35%を目安とする方針を採用。利益還元を一層強化。
- 今後も長期的視点に基づき安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としつつ、企業価値向上に伴うさらなる還元拡大を目指す。資本効率の向上と成長戦略を両立し、株主の皆様へ長期的なリターンを提供していく。




※2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を実施したため、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。なお、金額は小数点以下を切り捨てて表示しております。

© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

太平電業株式会社

## 当社の方針と取り組み

### 成長投資とリソース配分の最適化による利益創出力の強化

i. 既存事業におけるリソース配分の最適化

ii. 新規事業に対する積極投資

iii. 事業セグメントの拡大につなげるM&A

iv. 海外事業の拡大

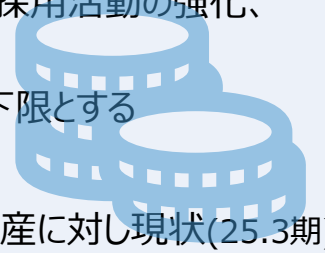
### 事業活動で獲得したキャッシュを、成長投資と株主還元に配分

i. 成長投資は新規事業（グリーンプロジェクト）実現に向けたR&D、設備投資に振り向ける他、人的資本の増強（採用活動の強化、人材育成、DX化）を行う

ii. 株主還元は、純資産配当率（DOE）3%を下限とする

iii. 配当性向については35%を目安とする

iv. 政策保有株式の保有割合について、連結純資産に対し現状(25.3期)13.8%を2030年度までに10%未満とすることを目指す



### IR活動の充実・拡充

i. 当社ウェブサイトを通して、サステナビリティなどの非財務情報を含めた情報発信を充実

ii. 積極的な情報開示と能動的な投資家との対話を強化

iii. 統合報告書の開示に向けて検討

iv. 株式分割による流動性の向上と個人投資家へ向けた取組み強化

### サステナビリティ経営の推進

「社会課題の解決」と「中長期的な企業価値の向上」を目的として、「サステナビリティ推進委員会」を設置。

**次期中計(2026.4~)では、さらなる取組みの深化と推進を行う**

© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

# Ⅲ.中期経営計画の取組状況

# 中期経営計画基本方針

太平電業株式会社

## 2026年3月期 数値目標

| 売上高 | ROE |
|---|---|
| 1,500億円 | 9%以上 |

## 社会の発展に寄与する攻めの経営
## 新しい企業価値をもたらす共創経営

- **基盤事業の強化による売上拡大**
  （火力・原子力発電・環境施設・脱CO2）
- **新規事業への取組**
  （グリーンプロジェクト～攻めのEPC～）
- **M&A**

## 社会構造の変化に即応できる守りの経営

- 時間外労働の上限規制への対応
- 人材の確保と育成
- 安全・品質を軸とした組織運営

## 前中計における課題への対応

- EPC、O&M事業の拡大
- 海外事業の拡大

© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

# 外部環境の変化と売上高推移

太平電業株式会社

- 外部環境が変化する中でも、安定した電力供給こそが、国民生活の安定・安心と「ものづくり日本」の礎となるとの考えから、今後も日本のエネルギー基盤を支える存在として、ビジネス機会の発掘と企業価値の向上に取り組む。

凡例：○ 電力供給に関する事項 （● うち、当社のビジネスにとって特に重要な事項 ） ○ 電力の利用や環境配慮に関する事項

**2000年代**

- ○ 原子力ルネサンス (原子力発電の再評価)

**2010年代**

- ○ 3.11 東日本大震災 (福島第一原子力発電所の事故)
- ○ 原子力発電の停止 (安全性の再検証)
- ● **大型石炭火力発電所の建設ラッシュ**
- ○ カーボンニュートラルの促進

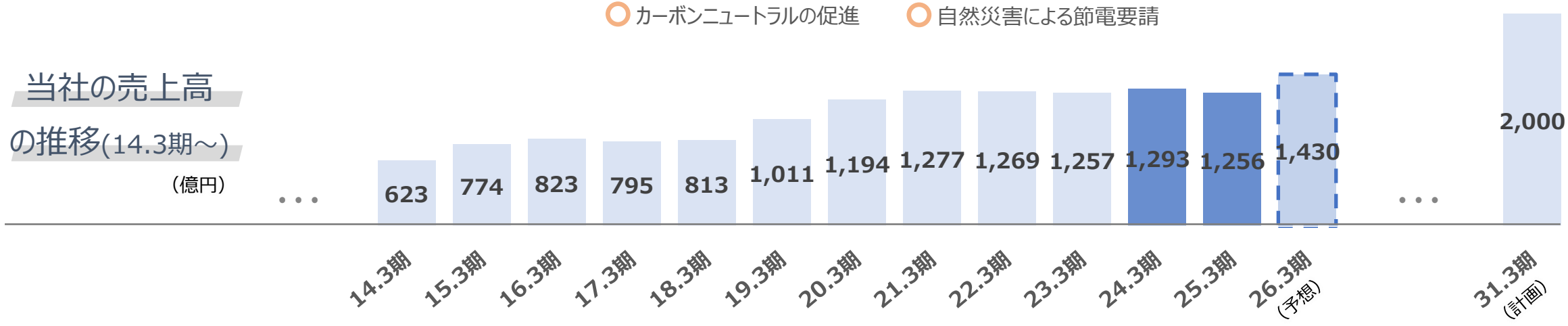
**2020年代**

- ○ 第6次エネルギー基本計画 (2021.10)
- ○ ウクライナ戦争によるエネルギー市場の混乱
- ○ エネルギーセキュリティへの意識の高まり
- ● **原発再稼働への動き**
- ○ 第7次エネルギー基本計画 (2025.2)
- ○ 半導体工場、データセンターの建設加速
- ● **原発再稼働が急務に**
- ○ 自然災害による節電要請

**2030年代**

- ● **原子力新増設**
- ● **大型ガスタービン 建設ラッシュ**
- ● **清掃工場 更新ラッシュ**
- ● **老朽原子力/火力発電所 解体**
- ● **海外事業の展開 (香港、フィリピン)**
- ○ **火力発電・鉄鋼業でのCCS技術の導入**

当社の売上高の推移(14.3期～)

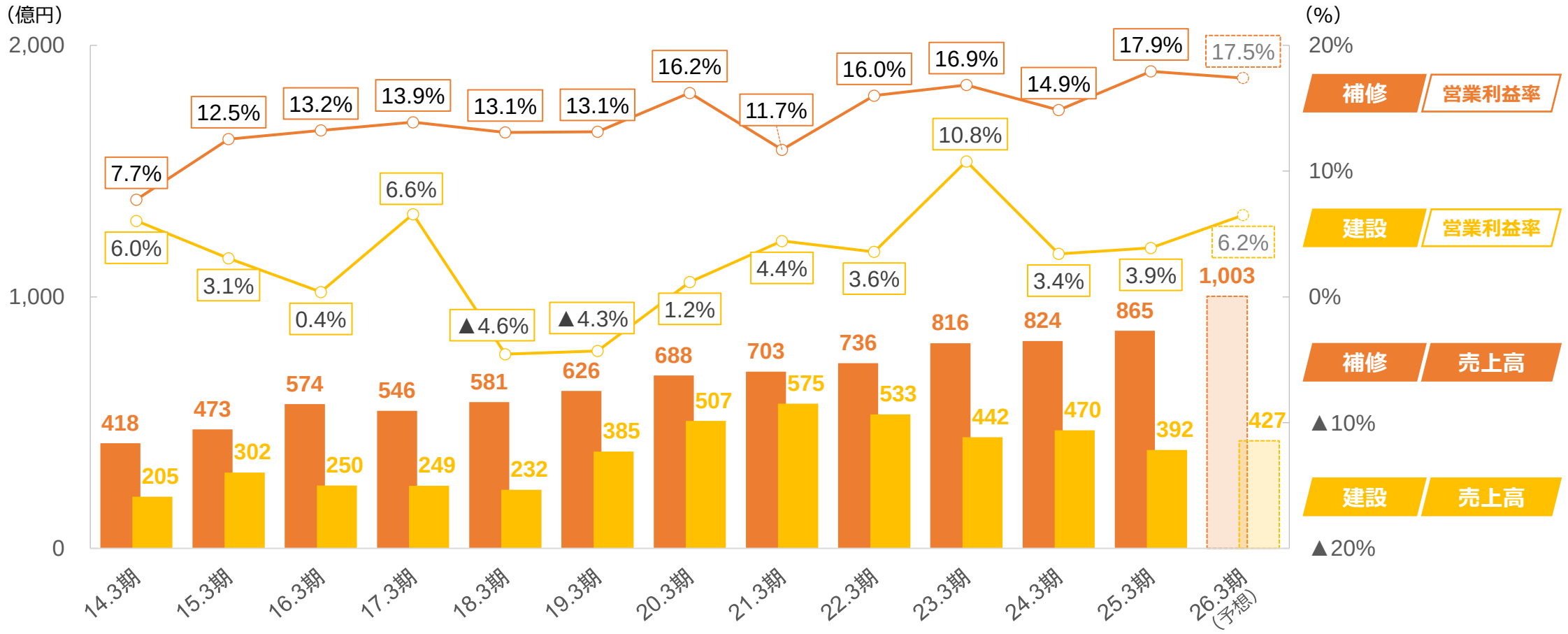



© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

# セグメント別業績推移

太平電業株式会社

- **建設工事**はリスクが高く収益のブレが大きい反面、技術力の向上および、**補修工事**への展開によるシェア拡大が見込める。
- **補修工事**は安定的に収益を見込むことが可能。年々着実に拡大しており、収益力の向上が進んでいる。



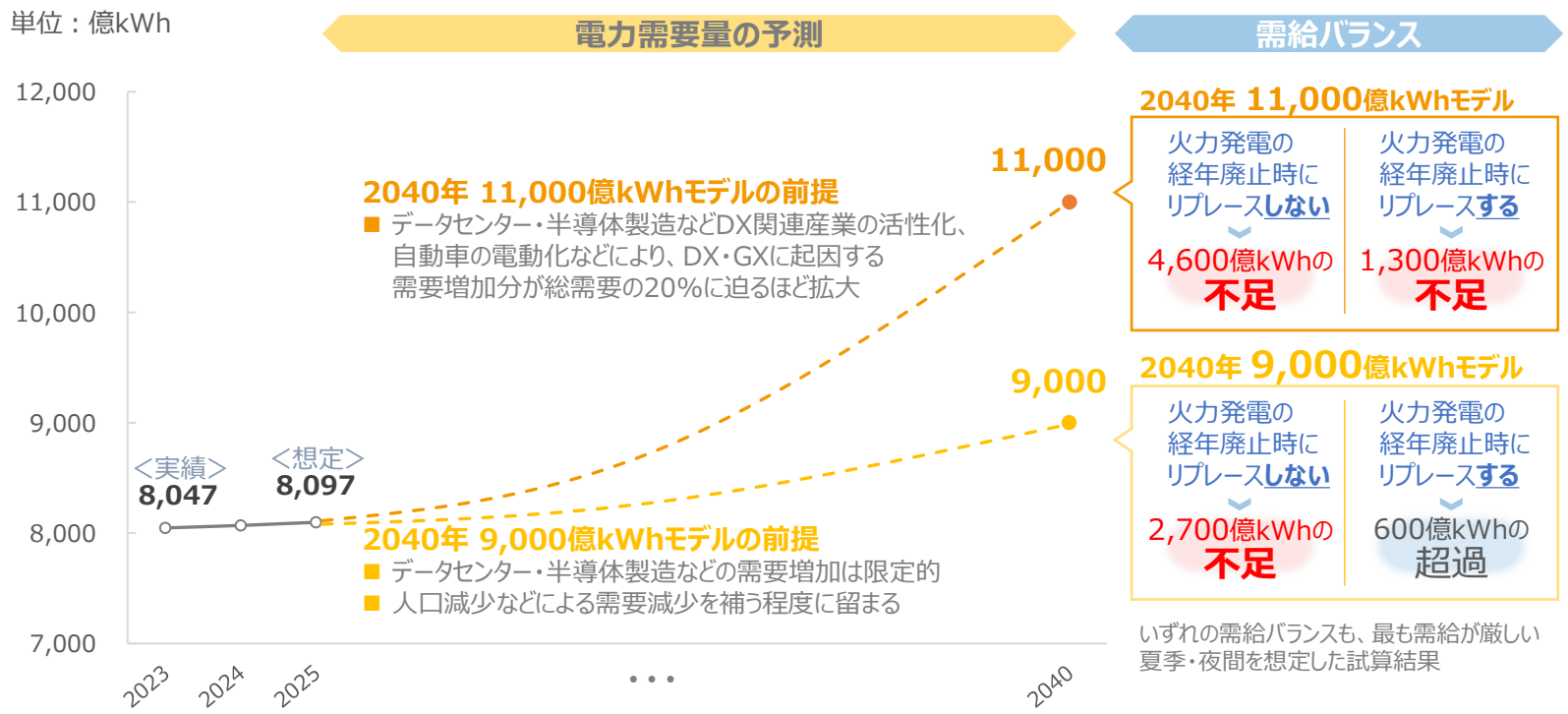

© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

# 基盤事業の強化：将来のエネルギー需給への対応

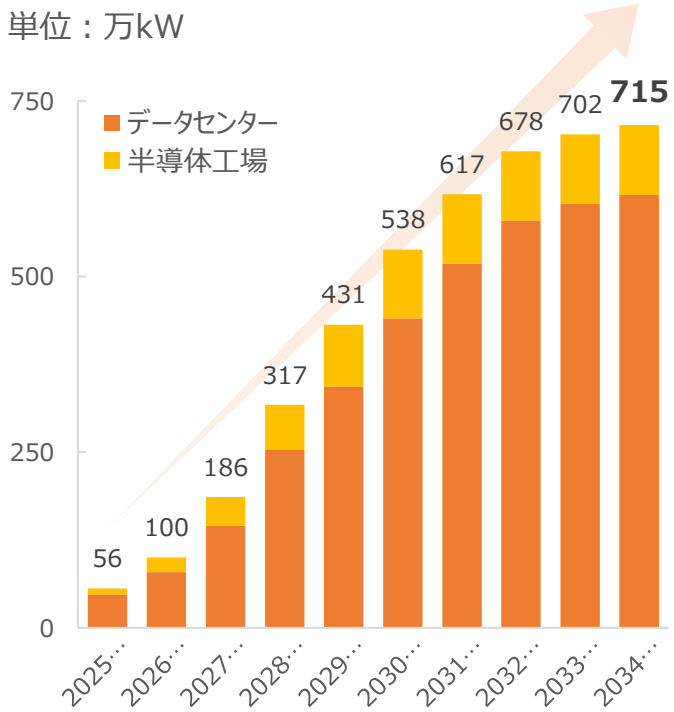
太平電業株式会社

- データセンターや半導体工場の新増設によって電力需要は増加し続けると予想されており、火力発電のリプレースがなければ夏季・夜間において電力不足が見込まれる。
- データセンターや半導体工場にかかる最大電力需要については2034年度で＋715万kWの増加（2024年比）が見込まれる。それに対し、当社の技術力と動員力は将来の電力安定供給に貢献できる力を有しており、事業機会の拡大が期待できる。

## 2040年の需給バランスのシナリオ




## データセンター・半導体工場新増設に伴う 最大需要電力(全国合計)




出所：電力広域的運営推進機関（OCCTO）「将来の電力需給シナリオに関する検討会①報告書概要版（2025年7月30日 差替版）」、同「全国及び供給区域ごとの需要想定（2025年度）- 2025年1月22日」、資源エネルギー庁「今後の電力需要の見通しについて - 2025年1月27日」より作成

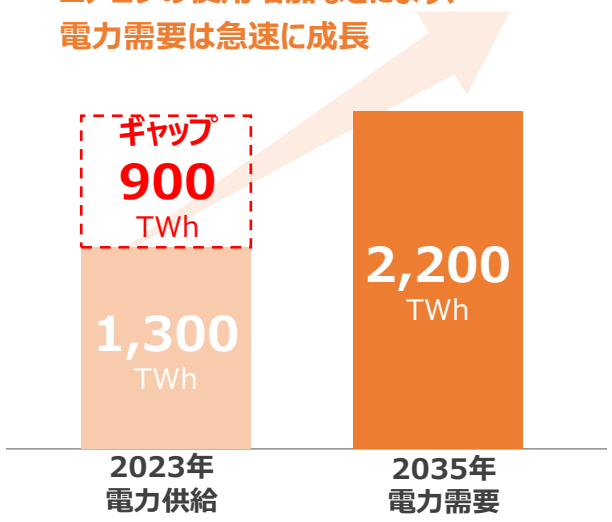
© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

# 基盤事業の強化：東南アジアのエネルギー動向

太平電業株式会社

- 東南アジアでの2035年の電力需要は2,200TWh超の見通しであり、2023年の電力供給1,300TWhに対し900TWhのギャップがある。インドネシア、ベトナム、タイ、フィリピン等の電源構成比では火力発電の構成比が高く、フィリピンにおいては2020年に導入された新規石炭火力発電所の建設規制が緩和される等、当社の市場機会である火力発電市場は引き続き拡大する見込み。

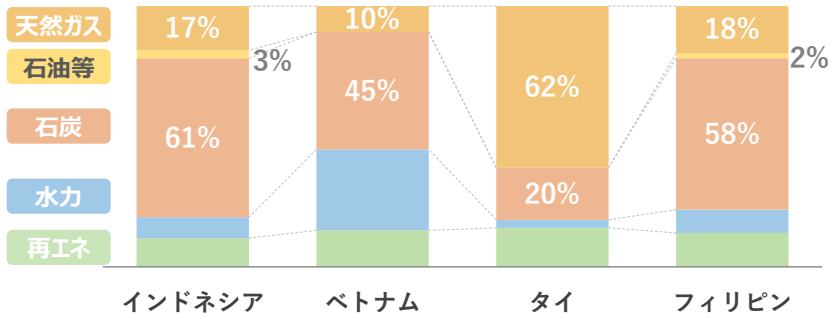
## 東南アジアの電力需給ギャップ



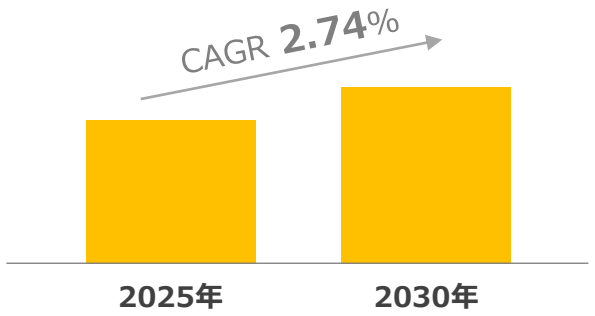

## ギャップに対する各国のアプローチ

| | |
|---|---|
| インドネシア | ・電力市場規模は2025年の91GWに対し、2030年は114GWまで拡大する見込（CAGR：4.61%）<br>・**2025年までに約7.24GW、2035年までに9.3GWの地熱発電を設置**する計画 |
| ベトナム | ・電力市場規模は2025年の89GWに対し、2030年は185GWまで拡大する見込（CAGR：15.76%）<br>・2030年の**ガス火力発電は、2020年から2030年にかけて4倍の37.3GW**となっており、輸入LNGを含む**ガス火力発電所が13プロジェクト（計22.5 GW）で稼働**する計画 |
| タイ | ・電力市場規模の2025年から2030年にかけて拡大する見込であり、CAGRは5.80%<br>・2037年までに最終エネルギー消費に占める**再エネ比率を51%**にすることを目標 |
| フィリピン | ・電力市場規模は2025年の30GWに対し、2030年は36GWまで拡大する見込（CAGR：3.70%）<br>・エネルギー省が**新規石炭火力発電所の建設規制**（2020年導入）**を緩和** |

## 各国の電源構成比




## 東南アジアの火力発電市場規模




© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

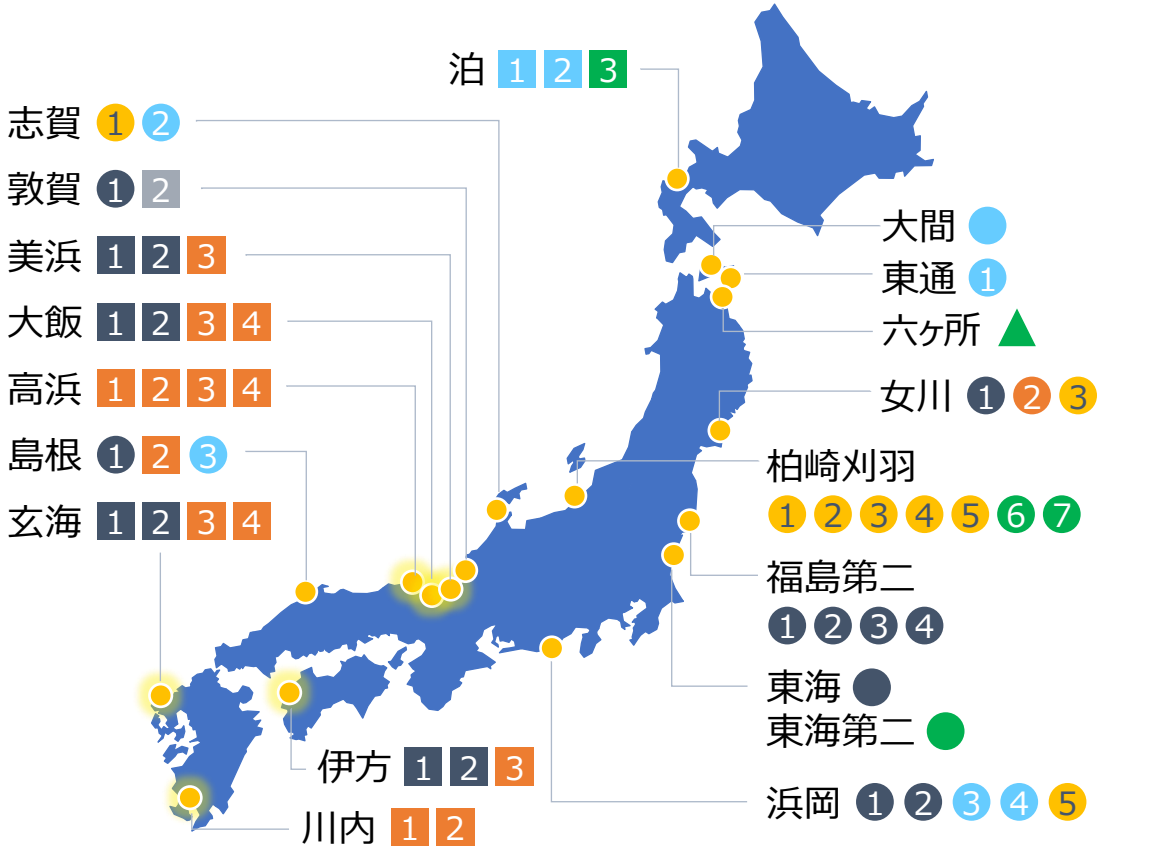
出所：IEA「Southeast Asia Energy Outlook 2024、資源エネルギー庁「東南アジアのエネルギー事情」、Mordor Intelligence「Southeast Asia Thermal Power Market Size」「Indonesia/Vietnam/Thailand/Philippines Power Market Size」より作成

# 基盤事業の強化：脱炭素社会へ向けた環境変化への対応（原子力）

太平電業株式会社

## 原子力発電所の再稼働

原子力施設新規制基準適合性審査状況　（2025年7月30日現在）




■未申請 ■審査中 ■許可 ■稼働 ■廃炉 ■不許可 | 1 PWR ②BWR △原燃サイクル施設

（出所）原子力安全推進協会HPより引用し当社にて作成

## 当社の取組み

- 建設・メンテナンス工事を数多く経験し、技術・動員力の優位性を得ている利点を活かし、受注拡大を目指す
- 原子力発電所再稼働に必要な安全対策工事における豊富な施工経験を活かし、全国の安全対策工事へ関与
- 安全対策工事施工を通じ、非常駐箇所の常駐化による施工エリアの拡大

| | 原子力施設数 | うち当社施工経験あり |
|---|---|---|
| 稼働済み | 14 基 | 9 基 |
| 許可 | 5 基 | 5 基 |
| 審査中 | 8 基 | 7 基 |
| 未申請 | 8 基 | 8 基 |
| 合計 | 35 基 | 29 基 |
| 廃炉・不許可 | 19 基 | 13 基 |

© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

# 基盤事業の強化：原子力発電所再稼働に向けての対応

太平電業株式会社

## GX脱炭素電源法

### 原子力に関する記述

**（2）安全確保を大前提とした原子力の活用/廃炉の推進**
**（原子力基本法、炉規法、電気事業法、再処理法）**

- 原子力基本法において原子力発電を重要な非化石電源として位置づけ、カーボンニュートラル社会の実現に向けた貢献を明記
- 安全規制を強化し、高経年化原子炉の安全性を確保
- 適切なメンテナンスや安全対策を実施したうえで、運転期間を延長することが可能
- 円滑かつ着実な廃炉の推進

### 原子力事業に対する機会

- 安全対策強化や更新工事の増加
- 新型炉建設、メンテナンスの発生
- 燃料サイクルの確立
- 延命化・運転期間延長関連の需要増
- 廃炉プロジェクトの拡大

## 当社のポジションと今後の方針

### ポジション

- 国内100か所以上の拠点を有し原子力発電所へのバックアップ体制が充実
- 専門性の高い技能者と同等の品質と施工力を発揮できる様々な機械設備の開発

→ 今後の原子力発電所の新増設は当社の技術や動員力無くしては成立しない

### 今後の方針

- 既に再稼働を果たした原子力発電所の工事経験を活かし、BWRの再稼働・特重工事の施工、取引先拡大

→ PWR・BWRいずれにも精通する当社の技術力により、今後実施されるBWRプラントの再稼働に貢献

- 燃料サイクル施設稼働に向けた工事対応

→ 多くの原子力関連施設での工事経験により、六ヶ所再処理工場等の工事に対応

- 廃止措置工事に対する工事対応

→ 原子力発電所の廃止措置工事で長年蓄積してきた実績とノウハウを活かし、今後本格化する廃止措置需要に継続的に対応

→ 廃止措置に関する技術開発の推進

© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

# 新規事業：グリーンプロジェクト全体構想

太平電業株式会社

**【グリーンプロジェクト】の目的は、バイオマス発電所を中心に、林業・農業等の地域資源を生かし、新たな産業と雇用を創出する地域循環型社会の実現を目指すこと**

**林業の活性化と進化**
- 劣化林の伐採・植樹による森林健全化
- 早生樹植林による燃料安定化と雇用創出
- 早生樹の主材利用モデル確立による特産品化

1㎡当たりCO2吸収量
2.13kg
（当社調べ※）

**農業の活性化と進化**
- $CO_2$及び熱供給による生産性・風味向上
- 先進的農業導入によるデータ分析・雇用創出
- 特産品化による地域内経済の活性化

**地域貢献**
- 地産地消型再生可能エネルギーの導入を促進
- 災害などの大規模停電時の重要施設への電源供給
- ベースロード電源としての電力安定供給

**※2023年8月～2024年5月までの西風新都での栽培試験結果**

© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

# 新規事業：グリーンプロジェクトの意義と進捗状況

太平電業株式会社

●バイオマス発電所での取り組みを軸に地方自治体と共同で発電事業を開発。
候補地のグリーンプロジェクトを早期に実現して全国展開を図る。

**2017**

**発電所　O＆M受託**

**2019**

**西風新都バイオマス発電所（7,100kW）保有**
経営ノウハウ蓄積・人材育成・地域貢献

西風新都バイオマス発電所

**2022**

**CO2回収装置の導入によるカーボンネガティブ化**
・集材新工法の試験開始
・早生樹（早生桐）の植林開始
・広島大学との共同研究開始
・CO2利活用開始（トマト・イチゴ栽培）

CO2回収装置

**グリーンプロジェクト始動**
・自治体とのグリーンプロジェクト実現に向けた協議
・林業における伐採・集材新工法の研究開発
・CO2利活用の効果確認

**2023**

**グリーンプロジェクト工事着手に向けた取組み**
・設備および建築設計開始
・地域資源バイオマス発電設備の認定に向けた取組み
・新潟県村上市における土地購入および発電設備発注

**2024**

**グリーンプロジェクト実現へ向けた取り組みを加速**
・茨城県筑西市および新潟県村上市を候補地として選定
・林業における集材新工法の確立
・農作物や早生桐への最適CO2施肥量の検証

**2025**

**実現**

**将来**
**さらなる成長へ**
- EPCの受注拡大
- 新規顧客獲得、販路拡大
- 補修、建設等の基盤事業の強化
- 海外への展開

© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

# 事業内容概要

太平電業株式会社

| | |
|---|---|
| **発電設備** | 火力発電／原子力発電／ガスタービン発電／ディーゼル発電／地熱発電／複合発電／<br>風力発電所等の建設および補修工事／O&M／運転業務委託 |
| **基幹産業** | 製鉄／石油化学／精糖／セメントなどの各種プラント<br>設計／製作／建設および補修工事 |
| **環境装置** | ゴミ焼却／汚泥処理／リサイクルプラントの建設および補修工事 |
| **電気計装** | 各種電気設備／変電所／制御／光通信設備／計装装置の設計／製作／<br>据付／および補修工事 |
| **土木建築** | 各種プラント関連設備の土木建築の設計・施工<br>空調および衛生設備の設計・施工 |
| **製　作** | 各種機械加工製品／各種製缶製品／各種配管<br>プレハブ／第二種圧力容器／電気・計装盤 |

© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.

**豊かな社会とこれからも。**
**×**
**社会の当たり前を支える。**

太平電業株式会社

免責事項

当資料に記述されている業績予想並びに将来予測は、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため実際の業績は、様々な要因の変化により、記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

© taihei-dengyo.co.jp. All Rights Reserved.